

配管から挿入し、内部構造物を遠隔加工・監視

- 内径100mm程度の配管から導入可能
- 挿入口径に比して広い遠隔加工・監視範囲(最大約10m)
- 反力がかかる機械加工も使用可能 (加工方法を任意に選定可能)

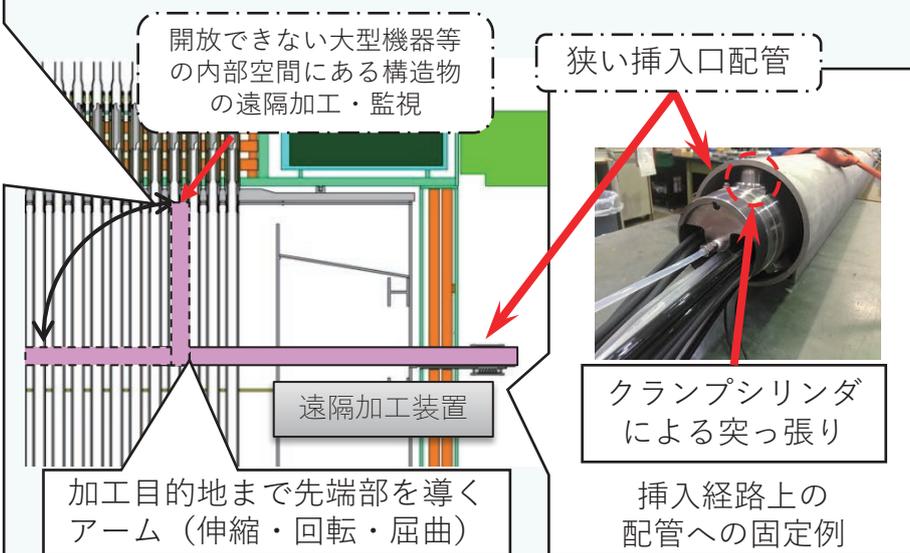
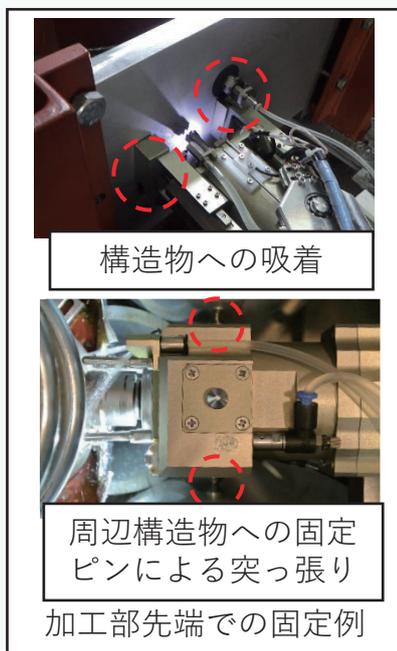
キーワード：遠隔技術、遠隔加工・監視、反力受け

- 大型機器等を開放せずに、限られた口径の配管から内部を調査、補修等をする際に、加工ツール、カメラ・センサを装置の先端に装着し、作業可能とする装置です。

限られた口径の配管から挿入する装置では、先端部を目的の場所まで送る長尺アーム、加工時の反力に耐える機能、挿入する配管口径に応じた細径化が必要



- ✓ アームの伸縮、回転、屈曲等の動作によって先端部を奥行き約10m、周囲約1.5mの広範囲にアクセスできる多関節構造
- ✓ 機械加工反力を先端加工部の周辺構造物で受けて相殺する
- ✓ アーム挿入経路の配管に固定し全体の振動等を抑える
- ✓ アームは、最低限の剛性を持たせて細径化



技術のステージ



実用化開発

利用分野

- ・ 解体作業全般 (配管の切断、加工等)
- ・ 原子力施設等の廃止措置分野

関連業種

学術・開発研究機関、設備工事業

知財・関連技術情報

特許第6959565号
(共願：三菱重工業(株))

技術の詳細

